

地域 × 若者 × 里山保全

## おきたま WOOD JOB!! ～里山でつながる木繋(キズナ)～



10月3日と4日の2日間、山口公民館と羽黒神社周辺の山林を会場に、「おきたま WOODJOB!!」を開催しました。

このイベントは、山口地区で里山保全を目的として活動する「山口の里山をたのしむ会」と、山形県教育委員会で推進する青年交流事業の企画をしている「SKY 置賜チーム」がコラボレーションしたものです。里山が抱える「里山の管理が行き届かない」という課題にスポットをあて、町内外から「若者」を多数呼び込んで、間伐の体験をしてもらいながら、里山の魅力に触れてもらおうというコンセプトで実施しました。置賜各地から集まった一般の参加者18名を含む54名で、羽黒神社表参道をハイキングした後、メインの間伐見学と体験を実施。大木が倒れる姿に圧倒された参加者からはざわめきが起こり、玉切り・測量体験ではチェーンソーやメジャーを使った本格的な作業を体験しました。

### 「災害時における相互応援に関する協定」締結式 海老名市と災害協定締結

10月5日、パレス松風を会場に「災害時における相互応援に関する協定」締結式が行われ、白鷹町と神奈川県海老名市が災害協定を締結しました。互いに観光を通して交流を深めてきたことが契機となり、この度の締結に至りました。協定書には、相互の応援体制に関する内容が盛り込まれています。海老名市の伊藤龍紀副市長は、「協定締結は非常に心強いが、実際には協定書の内容が行われないことを祈る」と災害が発生しないことを願い、あいさつされました。



### ジャックオランタンづくり

### 今年のハロウィンはずいずいのかぼちゃで

10月25日、あゆ一むを会場に梅津悠さん(浅立)と岡田麻紀さん(浅立)による「浅立はちまき隊」が主催のジャックオランタンづくりが開催され、親子や友人同士で参加した20名がランタンづくりを楽しみました。

今回使用されたかぼちゃは、浅立の「かぼちゃ耕房 ずいずい」の皆さんによってつくられたもので、参加者は自分の顔より大きなかぼちゃをくりぬく作業に悪戦苦闘しながらも、それぞれが思い思いの表情のランタンをつくっていました。



### 郷土食伝承事業

### 子どもたちへ伝える「しらたかの食文化」

白鷹町食の文化街道推進会議が主体となって毎年開催されている郷土食伝承事業が、10月14日、20日、27日に行われ、町内各小学校の6年生が栗ごはん、芋煮、冷やするなどの郷土食を味わいました。

児童たちは、郷土の恵みと料理をつくってくれた方々に感謝しながら食事を楽しみ、ほとんどの児童が料理をおかわり。「家でも郷土食をつくってもらいたい」という感想も聞かれました。